森林（もり）の木（ぎ）の譚（はなし）

二十一世紀の森づくりシリーズ　76

須恵の千年桜

自然教育林構想の理念は、須恵町の自然と環境を保護育成し、水資源としての森づくりや生活環境の保全などに集約されます。この構想実現は一過性のものではなく、人の営みが続く限り、継続されねばなりません。

今回、その一環で「須恵の千年桜」を構想のシンボルとして2月25日に植樹しました。千年育てるのは、時代を超越した人々の信念です。「ヤマザクラ」「エドヒガンザクラ」「オオシマザクラ」「ベニシダレザクラ」「オオヤマザクラ」など、大切にすれば千年を生きる木々です。

千年桜の構想は自然教育林推進協議会会長吉松輝さん以下10人の委員の方々の発案で、当委員さんたちと須恵町町有林管理作業員代表田原繁実さん他5人、皿山公園管理作業員代表舛本隆章さん他8人の方々と共同作業で実現し、久我記念館周辺に桜の苗木を植樹したものです。2年もの苗からの10年ものの苗まであり、メインの木は今年から花が見られそうです。また、桜に限らずこれからも継続的に、美術館から皿山公園に至る「ささやきの小径」沿道に名木を育てていく予定です。

なお、今回の植樹では、「タイサンボク」などの木も植えました。また委員の一人である園田勤さんが持参した「シャクナゲ」の薄ピンクの花も、開花が待たれます。

（自然教育林事務局長）

◇　◆

珍しい木・想い出の木・不思議な木・植物好き・花好きなど、木にまつわるおもしろい話を教えてください。

▼**連絡先**　歴史民俗資料館

☎933・6312

歴史民俗資料館

昔の生活民具シリーズ…45

「染付蘭虫水藻文大皿」

蘭虫（らんちゅう：金魚の種類）に水藻が描かれたこの皿は明治期のものと推定しています。その根拠は高台内に漢字で須恵製造と款されているからです。江戸期のものではないと言い切れないのですが、江戸時代のものはおおむね須恵・スエ山・スエなど、製造と書かれたものがなく、反面、明治期の須恵焼には須恵製造の金錆染付の製品が多く見られますから明治期と推定するわけです。

注意してみると絵の中に桜の花弁様のものが散見できます。もしこれが桜の花弁とすると大変風情がある絵柄といえます。水ぬるむ桜の花の季節、金魚も藻のある水の中で元気に泳いでいるというものです。春の明るさを感じさせる季節感ある絵柄です。元々双魚文は中国宋時代の青磁など多くの焼物にえがかれています。双魚はおそらく雄と雌を表現しており、陰陽道などからもたらされたと考えられます。この皿は直径が約42センチあり上品な呉須で描かれています。福岡市の奥村武氏の所蔵品です。

（館長）

合併問題任意協議会第8回・第9回会議

～15年度の全会議日程を終了～

志免町・宇美町・須恵町合併問題任意協議会（会長＝南里辰己志免町長）は2月23日（志免町）に第8回、3月2日（須恵町）に第9回の会議を開催。予定していた本年度の会議を終了し、法定協議会へ移行するかどうかの判断は、3町長が協議、調整することになりました。

第八回会議では、二月二十五日から始まる住民説明会について、最終的な協議をしました。

住民説明会で使われる「まちづくり構想」ダイジェスト版。この中の財政シミュレーションについて、すでに協議会では、収支額の推移から見たシミュレーションを作成していますが、新たに宇美町から、歳入の視点にたったシミュレーションが提案されました。

南里会長は「シミュレーションの特性から考え、いろいろなパターンがあってもいいのではないか」と、委員に理解を求め、最終的に協議会は、賛成多数でこれを承認しました。

第九回会議では、二月末に行われた住民説明会での、住民の意見が紹介された後、南里会長は、この協議会を任意から法定へ移行した方がいいかどうか、各委員の意見を求めました。

委員からは「住民に対し、具体的な説明ができるように、法定へ移行し、協議を進めていくべき」という意見が多く出ましたが、慎重な意見もありました。

最後に、南里会長は「スケジュールにのった一定の役割を果たせました。この会議を、最終会議とさせていただき、今後、三町長で協議・調整をはかり、皆様の期待にそえるよう努力していきたい」と話し、会議を終えました。

須恵→宇美→志免の3会場で住民説明会を開催

将来の「まちづくり構想」を説明。986人が参加されました。

2月25日から27日の3日間、会場をアザレアホール須恵、宇美町立中央公民館、志免町立町民センターと移動し、住民説明会を開催しました。夜の7時から始まった説明会には、3会場合わせて986人の住民の方が参加しました。協議会の会長、副会長である3町長も、3日間を通し出席しました。

この説明会は、志免町・宇美町・須恵町のまちづくり構想を、住民の皆さんに直接説明し、質問・意見を聞くことによって、できるだけ多くの方に、合併問題のことを知ってもらおうと開いたものです。

説明は、協議会が作成した「まちづくり構想」ダイジェスト版をもとに、30分ほど行われました。その後、参加者からの1時間を超える熱心な質問・意見が相次ぎ、合併問題に対する関心の高さが伺えました。

最後に南里会長は「皆さんの熱心なご意見を参考に、今後のまちづくりについて、議論を深めていきたい」と、会場の皆さんにお礼のあいさつをしました。

なお、説明会当日は、粕屋地区手話の会による手話通訳を行うとともに、託児室を設けました。

■**問い合わせ**　協議会事務局　〒811－2292　志免町志免中央一丁目1番1号　志免町役場内　☎937－1112、937－1144

※ 協議会の日程や会議録等は、町のホームページで見ることができます。